

## 4 歳児 I 期（4月～5月）

### 預かり保育

### 長時間保育

ねらい

- ◎ 預かり保育での生活の仕方が分かり、安心して過ごす。
- ◎ 自分のやりたい遊びを見付けて楽しむ。

- ◎ 長時間保育での生活の仕方が分かり、安心して過ごす。
- ◎ 保育者やクラスの友達に親しみをもったり、一緒に遊ぶことを楽しんだりする。

内容・活動等

- 預かり保育室での所持品の始末の仕方や間食のとり方などが分かる。
- 預かり保育の生活の中で、覚えたことやできそうなことを自分でやってみる。
- 預かり保育での生活に必要なきまりがあることを知る。
- 預かり保育担当の保育者に親しみをもつ。
- 保育者と一緒に遊んだり、困っていることを伝えたりする。
- 預かり保育室で、気に入った遊具や遊びを見付ける。
- 気に入った遊具などを使い、やりたい遊びを楽しむ。

- 長時間保育での午睡の準備や間食のとり方などが分かる。
- 長時間保育の生活の中で、覚えたことやできそうなことを自分でやってみる。
- 長時間保育での生活に必要なきまりがあることが分かる。
- 長時間保育担当の保育者に親しみをもつ。
- 保育者と一緒に遊んだり、困っていることを伝えたりする。
- 気に入った遊具や遊びを見付けて、やりたい遊びを楽しむ。
- クラスの友達と同じ遊びをしたり、一緒に動いたりして、ともに過ごすことを楽しむ。

4 歳児

◇ 環境構成

- ◆ 新しい環境での不安や疲れを考慮し、ござやマットなどを置いたくつろげる場や、一人で遊べる場を確保する。
  - ◆ 物の置き場所が分かり、安心して自分から動き出すことができるように、遊具や用具の場所に絵や写真の表示を付けるなど、環境を工夫する。
  - ◆ 落ち着いて楽しく間食をとることができるように、視覚的教材を使って手順を知らせたり、座る位置に配慮したりする。
  - ◆ 降園身支度の仕方が分かるように、手順を視覚的に示す、一人一人のペースに合わせた時間を確保するなどの工夫をする。
- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 所持品の置き場所が分かるように、個人用のかごを用意したり目印を付けておいたりする。</li> <li>◇ 一人一人が、自分のしたい遊びを見付けて落ち着いて遊ぶことができるように、遊具の種類や量に配慮する。</li> <li>◇ 遊び始めのきっかけにしたり、興味をもって関わったりできるように、家庭で親しんでいたと思われる遊具や園ならではの遊具を、手に取りやすいように配置する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 安心して自分の身の回りのことに取り組めるように、所持品の置き場所に、個人別マークや名前を付けておく。</li> <li>◇ 目覚めから間食の準備など、幼児が生活を進めやすい物の配置、動線を考慮する。</li> <li>◇ 3 歳児クラスの時に経験した遊びや親しんだ遊びができるように、遊具や材料を用意する。</li> <li>◇ 新入園児と進級児それぞれが、自分たちの遊びを楽しめるように、場を確保したり、遊具の数やコーナーの構成の仕方を考慮したりする。</li> </ul> |
|--|---|

## 預かり保育

## 長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 名前を呼んだり、笑顔で話し掛けたり、一緒に遊んだりしながら、一人一人の幼児と信頼関係を築く。</li> <li>★ 幼児が困ったり不安になったりする姿が見られたときは、その気持ちに寄り添い、そつと手助けをしたり、声を掛けたりして、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 進級児が自分からやりたいことを見つけて遊び出す姿が見られた際は、幼児が楽しさを感じられるような言葉を掛ける。</li> <li>☆ 遊びが見付からない幼児に対しては、周りの様子と一緒に見たり、親しみのある遊具と一緒に遊んだりし、幼児が遊びの楽しさを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 幼児の思いに寄り添いながら、保育者も一緒に遊び、遊びのモデルを示したり、経験に応じて遊具や用具、素材の扱い方を知らせたりする。</li> <li>☆ 保育が長時間に渡る幼児については、特にその様子を丁寧に捉え、疲れや甘えたい気持ちを受け止め、安心してゆったりと過ごせるようにする。</li> </ul>

△ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 申し送りの方法や連絡ノートの扱い方（記入の方法、回覧の方法など）について、年度当初に保育者間で共通理解する。</li> <li>▲ それぞれの時間帯の一人一人の様子について情報交換する時間をもち、幼児の実態、よさ、課題などについて共通理解する。</li> <li>▲ 新年度には、特に送迎時に、保護者への伝達事項が多くなることが予想される。保育者は、保育に関わる役割と、保護者対応をする役割に分かれ、連携して対応する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ 入園・進級後、初めて預かり保育を利用する幼児も多いので、移行時には、当日の預かり保育担当者に密に申し送りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ 進級して環境が変わるので、移行の方法（幼児の身支度の仕方、保育者の動きなど）を、保育者間で共通にしておく。</li> </ul>

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保護者に、教育活動の様子を知らせる掲示板があることを知らせ、その掲示板を見ることを促す。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 保護者が園に対して安心感をもてるように、送迎時を利用して、教育活動での様子や預かり保育で楽しく過ごしている様子を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 保護者が園に対して安心感をもてるように、送迎時を利用して、教育活動での様子や長時間保育で楽しく過ごしている様子を伝える。</li> <li>□ 環境が変わり、不安を感じる保護者もいるので、話を聞いて不安を受け止めたり、園での様子を具体的に知らせたりする。</li> </ul>

## 4 歳児 Ⅱ期（6月～9月上旬）

### 預かり保育

### 長時間保育

ねらい

- ◎ 預かり保育での生活に慣れ、喜んで過ごす。
- ◎ 夏の過ごし方を知り、季節感のある遊びを楽しむ。
- ◎ 友達と触れ合いながら遊ぶ楽しさを味わう。

- ◎ 長時間保育での生活に慣れ、喜んで過ごす。
- ◎ 夏の過ごし方を知り、季節感のある遊びを楽しむ。
- ◎ 思ったことや考えたことを表しながら、友達との遊びを楽しむ。

内容・活動等

- 預かり保育を利用する日を楽しみにし、喜んで入室する。
- 所持品の始末や間食の準備・片付けなどで、自分でできることをやろうとする。
- 夏を健康に過ごすために、休息、水分補給、着替えなどが必要であることを知る。
- 水に触れる遊び、シャボン玉遊び、虫取りなど、季節ならではの遊びの楽しさを味わう。
- 気に入った遊具や遊びを通して、友達と触れ合いながら遊ぶ。
- その日に預かり保育を利用している友達に親しみをもつ。
- 同じ場で遊ぶ友達と、同じように動いたり関わったりして遊ぶ。

- 長時間保育で過ごすことを楽しみにし、喜んで生活する。
- 午睡時の着替え、間食の準備・片付けなどで、自分でできることをやろうとする。
- 梅雨や夏を健康に過ごすために、休息、水分補給、着替えなどが必要であることを知る。
- 水に触れる遊び、シャボン玉遊び、虫取り、夏祭りなど、季節ならではの遊びの楽しさを味わう。
- やりたいことややってほしいこと、思ったことなどを、保育者や友達に言葉で伝えようとする。
- 気の合う友達と一緒に遊びを楽しむ。
- 気の合う友達と一緒に遊ぶ中で、互いに思いを出して遊ぶ。

4 歳児

◇ 環境構成

- ◆ 水遊びやプールなどの教育活動に応じて、静と動のバランスに配慮した遊びを提示する。
- ◆ 雨天が続いて体を動かしたい欲求が高まっている様子が見られた場合は、気持ちを発散できる運動的な遊びの場を用意するなどの工夫をする。
- ◆ 暑さで体力を消耗しやすい季節なので、室内の温度を調整するとともに、布団やござをしいたコーナーなどゆったりとくつろげる環境を用意し、幼児が自分で休息がとれるようにする。
- ◆ 水遊びや暑さなどで疲れが出やすいので、室内でゆっくり過ごすことができるようにブロック、パズルなど一人一人がゆったり遊べる遊具を用意するとともに、遊ぶ時間や場を確保する。

◇ その日に預かり保育を利用する幼児の人数に対して十分な遊具の数を用意し、安心して友達と遊べるようにする。

- ◇ 疲れが見られたときは、午睡の時間を多めにとる、身支度の時間にゆとりをもたせるなど、生活の流れを工夫する。
- ◇ 虫取り網や虫かご、図鑑などをいつでも使えるように用意する。
- ◇ 七夕や夏祭りの経験に基づき、作りたい、踊りたいなどの気持ちに応えられるよう、道具や遊具を準備する。
- ◇ 夏季休業中の人数が少ない日は、他クラスと一緒にプールに入ったり交流して遊んだりする機会を設ける。

教育活動後の期ごとの指導計画例

## 預かり保育

## 長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 一人一人と丁寧に挨拶を交わしたりスキンシップを図ったりしながら受け入れ、幼児が教育活動後の生活に気持ちを切り替えていけるようにする。</li> <li>★ 幼児が健康に過ごすことができるように、水分補給、休息、着替えなどを、必要に応じて促す。</li> <li>★ 友達と同じ動きや同じ物を身に付けたい気持ちを受け止め、楽しさを共感する。</li> <li>★ 保育者も一緒に過ごす中で、気持ちを代弁したり具体的な伝え方を知らせたりする。</li> <li>★ 夏季休業中は、過ごし方や人数の変化により、不安定になる幼児も予想されるので、個々の気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 預かり保育を利用する頻度により、預かり保育での生活の慣れ方が異なることを踏まえ、必要に応じて個別に関わったり、自分でできることを見守ったりする。</li> <li>☆ 身の回りのできるようになったことや預かり保育の生活の仕方などで覚えてきたことに自分から取り組む姿勢を大いに認める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 身の回りのできるようになったことや長時間保育の生活の仕方などで覚えてきたことに自分から取り組む姿を大いに認める。</li> </ul>

△ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ プール・水遊びの予定や内容など、教育活動での保育内容について情報を共有し、一日の中で静と動のバランスを考える。</li> <li>▲ 梅雨以降、気候の変化で体調を崩す幼児も出てくるので、一人一人の体調に配慮する。</li> <li>▲ 夏季休業中は様々な保育者が保育にあたるので、学級担任は日頃の幼児の様子について事前に伝えておく。特に配慮を要する幼児の情報は丁寧に伝えるようにする。</li> <li>▲ 夏季休業明けは生活のリズムが変わり、疲れが出やすい時期であるので、一人一人の様子を丁寧に把握し、引継ぎをする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ プールに入る際は、体調面の申し送りを保育者間で十分に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ 他のクラスと一緒にプールに入ったり交流したりする際は、内容や時間などを保育者間で十分に話し合い、連携して準備する。</li> </ul>

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 降園時の話やクラス便りを通して、幼児の姿や成長、友達関係の広がりについて知らせる。</li> <li>■ 汗をかいたり水遊びをしたりして着替えが多くなるので、自分で着脱できる衣類の準備、記名、衣類の補充などを依頼する。</li> <li>■ 水遊びに際して、プールカードなどを活用し、家庭と連絡を取り合い、健康状態十分に留意する。</li> <li>■ 夏は体が疲れやすいことや夏特有の病気が流行することを伝え、家庭でも十分に睡眠や栄養がとれるよう配慮してもらう。</li> <li>■ 休み中の様子や経験したことを保護者から聞いたり、園での様子を伝えたりする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 夏季休業中、夏季休業前後も安心して利用してもらえるよう、一日の流れや持ち物などを丁寧に説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 友達への関心が高まる時期であることを踏まえ、トラブルの状況や対応を丁寧に知らせる。</li> <li>□ 夏季休業明けは、一人一人の実態に応じて生活リズムを取り戻せるように協力を求める。</li> </ul>

預かり保育

長時間保育

ねらい

- ◎ 預かり保育での生活の仕方を思い出し、楽しく過ごす。
- ◎ 伸び伸びと体を動かすことを楽しむ。
- ◎ 保育者や友達と関わる中で、自分の思いを動きや言葉に表して遊びを楽しむ。

- ◎ 長時間保育での生活のリズムを取り戻し、園生活を楽しむ。
- ◎ 伸び伸びと体を動かすことを楽しむ。
- ◎ 気の合う友達と関わる中で、思いや考えを表し、遊びを楽しむ。

内容・活動等

- 預かり保育の生活の流れやきまりを思い出す。
- 身支度や間食の準備・片付けなどで、自分でできることは、自分でやろうとする。
- 預かり保育の遊具、用具などの扱いに慣れて、大切に使う。
- 戸外で遊んだり音楽に合わせて踊ったりして、さまざまに体を動かす。
- 遊具や用具を選んで使ったり、組み合わせて場を作ったりして遊ぶ。
- 保育者や友達に親しみをもって、挨拶をしたり、会話をしたりする。
- やりたい遊びに取り組んだり、友達と関わったりする中で、自分の思いを動きや言葉で表す。

- 長時間保育の生活の流れやきまりを思い出す。
- 入室、午睡、間食などの生活の中で、自分でできることは、自分でやろうとする。
- 戸外で遊んだり音楽に合わせて踊ったりして、さまざまに体を動かす。
- 友達の動きを真似たり、自分なりに試したりしながら、体を動かすことを楽しむ。
- やったこと、見たこと、考えていることなどを、保育者や友達に話す。
- 気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 気の合う友達との遊びの中で、自分の思いを動きや言葉で表して伝えようとする。

◇ 環境構成

- ◆ 夏の疲れが出たり、運動量が増えたりするので、一人一人の状況に応じて、気持ちを切り替えたり、それぞれのペースで過ごしたりできるような環境を工夫する。（静かに過ごせる場を作る、一人一人のやりたいことができる場を確保する、気分転換となる遊びを提示するなど）
- ◆ 幼児が自分で休息をとったり水分補給をしたりできるような環境を用意する。
- ◆ 運動会に向けて教育活動での活動量が増えることを踏まえ、静と動のバランスを考慮した生活の流れや環境を工夫する。
- ◆ 長時間過ごす幼児が気持ちを切り替えるとともに、さまざまな遊びを経験できるように、涼しくなる夕方の時間帯に戸外での遊びを楽しむ時間を確保する。
- ◇ 預かり保育を久々に利用する幼児もいるので、物の置き場所や生活の流れを変えず、安心して過ごせるようにする。
- ◇ 遊具や材料を組み合わせた、選んで使ったりしながら、遊びを楽しめるように、今までに使ったことのある遊具や材料を用意する。
- ◇ 生活リズムが整うように、生活の流れを一定にする。
- ◇ 一緒に遊ぶ友達とのつながりを感じることができるよう、落ち着いて遊ぶことができる空間を確保したり、場作りのための用具（ござやつい立てなど）を用意したりする。

## 預かり保育

## 長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 休み明けの一人一人の様子や夏季休業中の話などを丁寧に受け止め、幼児が安心して過ごせるようにする。</li> <li>★ 一人一人の生活面での実態を見直し、自分でやろうとする姿勢を認める、自分でできるように援助するなど、一人一人に応じた働き掛けを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 保育者も一緒に体を動かし、モデルを示したり、幼児の動きを引き出したりする。</li> <li>☆ 自分なりの動きを試す、友達と一緒に踊る、固定遊具を使って遊ぶなど体を使って遊ぶ姿勢を認め、その楽しさを共感する。</li> <li>☆ 友達同士で遊ぶ姿を見守りながら、状況に応じて保育者が橋渡しをして、自分の思いが相手に伝わる嬉しさを感じられるようにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 預かり保育を久々に利用する幼児に対しては、生活の仕方を思い出すことができるような言葉を掛けたり、気が付いて自分で行おうとする姿勢を認めたりする。</li> <li>☆ 入室時に丁寧に挨拶を交わしたり、遊びの中で個々の幼児と会話を楽しんだりし、幼児が保育者に対して安心感や親しみをもてるようにする。</li> <li>☆ 遊びの中で自分の思いを表すことができるように、状況に応じて問い掛ける、代弁する、他の幼児との橋渡しをするなどの援助をする。</li> </ul>	

△ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 運動会へ向けたねらいを明確にし、保育者間で話し合う機会をもち、共通理解を図る。</li> <li>▲ それぞれの時間帯の保育を見合う時間をもつ。運動会の練習を参観し、その日の保育を構成するための参考にする。</li> <li>▲ 運動会の取組を受けて、踊ったり走ったりして楽しむ幼児が増えるため、安全に遊ぶことができるように場を確保したり保育者が連携して見守ったりする。</li> </ul>
-----------	---

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運動会のねらいや取組の過程について、クラス便りや掲示などを通して保護者に伝える。</li> <li>■ 気候の状況や園での生活の様子などを伝え、衣類の種類や数を考慮して準備してもらうように依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 預かり保育を久々に利用する保護者が安心感をもてるように、掲示版などを利用し、直近の預かり保育での様子を伝える。</li> </ul>
-----------	---	---